



2017年3月22日

4,000人のランナーが春の海の中道を快走
「共栄火災スポーツフェスタ 第30回海の中道はるかぜマラソン大会」が開催
キャラクターバルーン販売の売上金43,000円を交通遺児のために寄付

共栄火災海上保険株式会社（本社：東京都港区新橋 1-18-6、社長：杉中 洋文）は3月19日（日）に、福岡県福岡市の国営 海の中道海浜公園で開催された市民マラソンイベント「海の中道はるかぜマラソン大会」に特別協賛しました。この大会は今年で30回目を迎え、当社は1997年から協賛を開始して以来今年で21年目となります。現在では「共栄火災スポーツフェスタ」としてすっかり定着しています。

玄海灘や博多湾を見晴らす健康的なエリアとして広く親しまれている海の中道海浜公園には、福岡県を中心とする全国から約4,000人のランナーが集結しました。この日は晴天に恵まれ、記録に挑戦するランナーや工夫したコスチュームで見学者を楽しませるランナーなど、参加者はそれぞれの楽しみ方で汗を流しました。

当社は福岡市に拠点を構える九州支店の社員を中心に25名がスタッフとして参加、キャラクターバルーンのチャリティ販売やアクセスチェッカー・ミニ（可搬式機器安全運転適性診断）による運転適性診断サービスの提供でイベントを支援しました。

当日は、当社のキャラクター「サイ吉」とFM福岡のキャラクター「くまP～」が会場を訪れ、イベントを大いに盛り上げました。そのおかげもあり当社のブースには多くの参加者が訪れ、キャラクターバルーンの売上げが43,000円となりました。売上金は、「公益社団法人 福岡県交通遺児を支える会（福岡市中央区）」に全額寄付し、交通遺児のために役立てられる予定です。

今後もこのような地域に根差したスポーツ・文化支援活動を継続して実施していくとともに、社員が参加してのイベント支援を通じて、地域の方々との交流を積極的に図ってまいります。



4, 000人のランナーが海の中道海浜公園を快走



イベントを盛り上げた「サイ吉」と「くまP〜」



子どもに大人気の「サイ吉」



キャラクターバルーンのチャリティ販売の様子



安全運転適正診断にチャレンジする参加者